

2011・夏休みすいせん図書

— 本の森へ —

中学生



西東京市図書館



「おコン草子」



齋藤飛鳥 作 ナツコ・ムーン 絵／童心社

キツネと人間の間に生まれた、おひげの女の子・おコン。一番の友達^{ともたち}は、気が強いけど病弱な、長者^{びょうじゃく}さまの末息子^{ちやうじゃ}・弥兵^{すえむすこ}。「もってこの夏^や」と言われた弥兵の命を助けるために、<なら梨>を求めておコンは一人、旅立ちます。目指すはあっかない化け物^{たび}どもが出るイラズ山^だ。手に汗握る冒険の結末はいかに。



★「ガール! ガール! ガールズ!」★ - It's a girl's world -

宮下恵栄 著／ポプラ社

木内日菜^{きうちひな}、中二、女子。学校でもテニス部でも、女子世界の法則^{ほうそく}を守ってうまくやってきた。「心友^{しんゆう}」だって、ちゃんという。ところがある日、学校一のルックスの藤崎翔音^{ふじさきしょうおん}が声をかけてきた。それまで話したこともないのに、なぜ…? その日からみんなに距離^{きょり}を置かれ、平和な世界^{へいわかい}は崩壊してしまった。14歳女子の青春ガールズストーリー。



◎「盗まれたコカ・コーラ伝説」◎

ブライアン・フォークナー 作 三辺律子 訳／小学館

コカ・コーラの極秘^{ごくひ}レシピは世界で3人しか知らない。その3人が、誘拐^{ゆうかい}された。早く助け出さないとこの世からコカ・コーラがなくなってしまう。このピンチをどんな銘柄^{めいがら}のソフトドリンクをもあてることができる、特技の持ち主フィザーが救う。彼はコカ・コーラの味を再現するため、味見役としてコカ・コーラ社で働くことになった。



あま ご じゅう ゆう し でん か ぜ
□「尼子十勇士伝 赤い旋風篇」□

後藤竜二 著／新日本出版社

やま なか じん じ ろう
山中甚次郎十二歳は、《鹿》とよばれていた。幼いころから父と夜の森を走り、今日課は二十キロのけもの道を一時間で毎日駆け抜けることだ。城主とその叔父との権力争いのなかで、青嵐^{せいらん}という暴れ馬を得た鹿は、やがて山中家の当主となり、城主尼子晴久^{あま ご はるひさ}の嫡男・義久^{よしひさ}の身辺の雑用をすることとなった。そして、尼子と毛利元就^{もうり もとなり}との争いの中にまきこまれていく。



●「大草原のちいさなオオカミ」●

姜戎 作 唐亜明・関野喜久子 訳 / 講談社

チェンジェン^{ベキン}は北京から来た学生だった。2年間モンゴル草原で暮らし、遊牧民の生活を体験した。そこで、オオカミ^{おそ}によって羊が襲われる被害が多いことから、オオカミについてもっと知りたくなり、草原の長老^{ちやうろう}ビリグじいさんにオオカミの話をしてもらった。遊牧民にとっては天敵^{てんでき}だが、草原では神^かのような存在のオオカミを、チェンジェンは飼ってみたいと思った。



◆ 「アナザー修学旅行」 ◆

有沢佳映 著／講談社

私はなんて運が悪いんだろう。修学旅行の前に足を骨折しちゃうなんて。修学旅行に不参加の人たち7人と過ごすこの3日間。みんな話をしたこともない人たちばかり。でも、みんなと過ごすうちに、それぞれのよさが伝わってきて、連帯感もうまれた。中3の修学旅行は一生ないけど、こんな「アナザー修学旅行」もおもしろいかも。



☆「モーツァルトはおことわり」☆

マイケル・モーバーゴ 作 マイケル・フォアマン 絵 さくまゆみこ 訳/岩崎書店

有名なバイオリニスト、パオロ・レヴィはモーツァルトを演奏しない。その理由が明かされた。パオロの父は、昔はバイオリニストだったというが弾く姿を見たことは無く、その話をする母はいつも悲しそうだった。ある時、父と母が、ナチスの強制収容所のオーケストラに所属し演奏していたことを知った。収容所に、オーケストラが存在していたその理由とは。



■「江戸のくらしから学ぶ『もったいない』」■ 第1巻 ゴミをへらす知恵

秋山浩子 文 伊藤まさあき 絵/汐文社

江戸時代、『もったいない』の精神は庶民の生活にしっかり根付いていました。ものがなくても心豊かにくらす知恵があったのです。あらゆるものがあふれている現代、今に生かせる『もったいない』の考え方と、とてもきれいな江戸のまちから、ゴミをへらす知恵を学びます。

シリーズ全3巻。第2巻「快適にすごす工夫」第3巻「ムダを出さない社会」があります。



♥「動物の死は、かなしい？ 元動物園飼育係が伝える命のはなし」♥

あべ弘士 著/河出書房新社

動物園の飼育係を経て、絵本作家となった著者が、子どものころから、飼育係時代・その後に会った「生と死」について書いた本。

自然のなかで生き物とともに育った子ども時代、飼育係時代に体験した動物との出会いと別れ。そして自分の身近な存在であるペットとのふれあい。「命とはなんだろう」あなたも考えてみませんか。

